



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV

【売坊流】異常値分析（24年4月）

円安・株安・金利高

日本売り加速中

この番組では皆様の投資やトレードに役立ち
そうなイベント、グレイ・リノ、異常値分析
について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2024 OP売坊



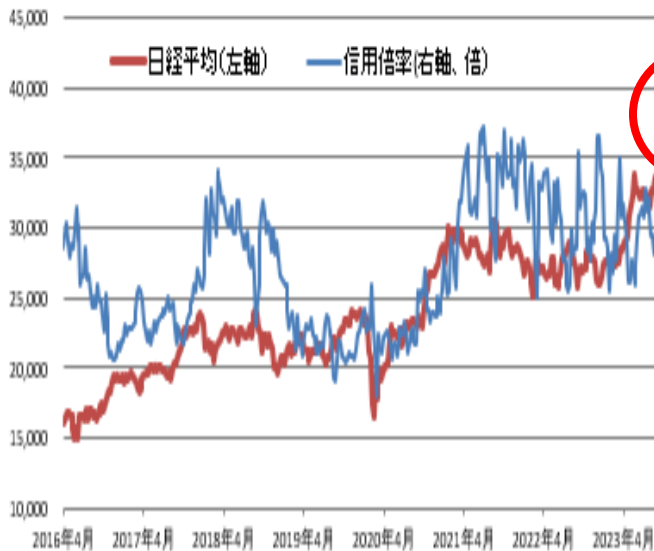
やはりPERや信用倍率は日経平均の過熱感を示唆していた

日経平均とその予想EPS（1株当たり利益）×PER（株価収益率）バンド

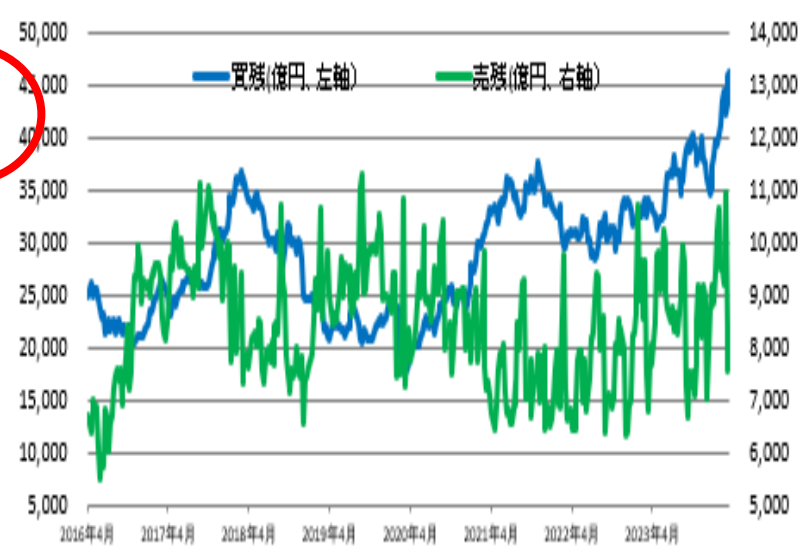


出所) 日本経済新聞より筆者作成 (2024年4月19日現在)

信用倍率と日経平均



信用売り残と信用買い残 (億円)



出所) 日本経済新聞などより筆者作成 (2024年4月12日現在)

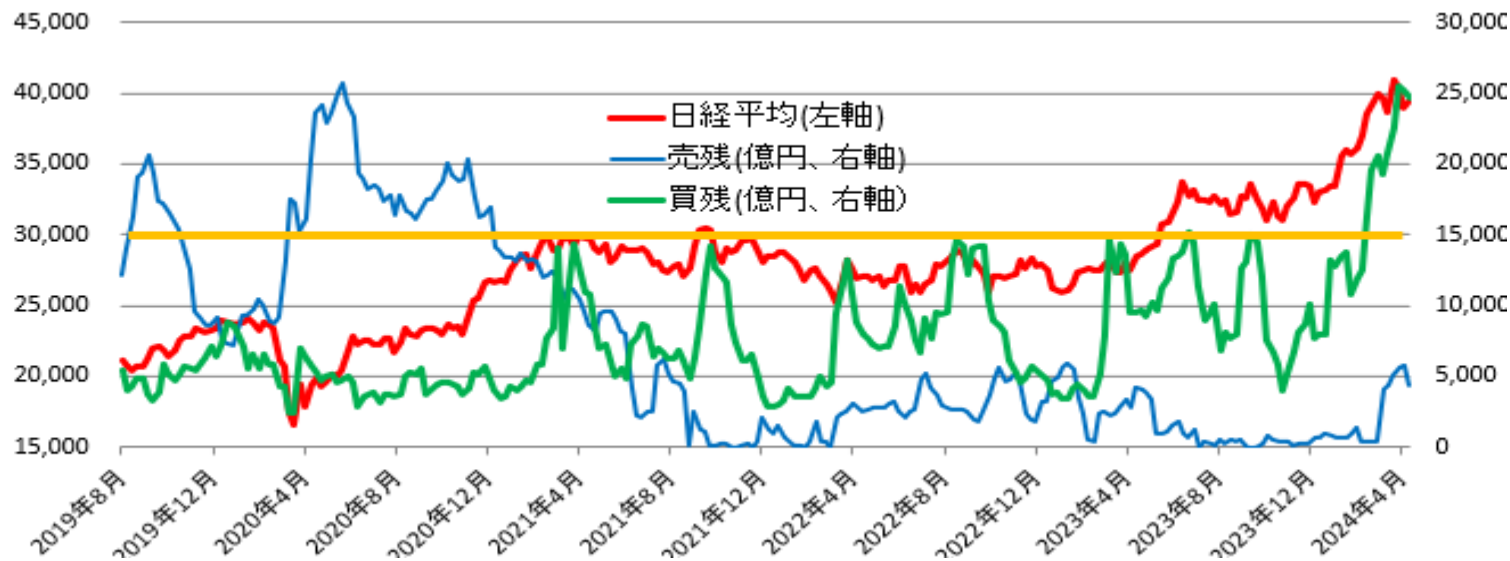
円安の進行を好感し、業績が上方修正されるとの思惑が先行して、日経平均の予想PER（株価収益率÷成長性）が3月22日に17.38倍を付けましたが、さすがに、この水準は維持できなくなっています。

4月12日に信用倍率（信用買い残÷信用売り残）が約6倍と異常な状態となり、潜在的な売り材料となりました



裁定買いは逆回転となるか

先物との裁定取引による現物の買い残・売り残（金額ベース）と日経平均（2024年4月12日現在）



裁定取引（先物売り－現物買い）による現物買い残が3月末から減少に転じています。円安以外の株価上昇のもうひとつの大きな要因がなくなってきたということでしょう

NT倍率と日経平均（株数ベース、2024年4月19日現在）



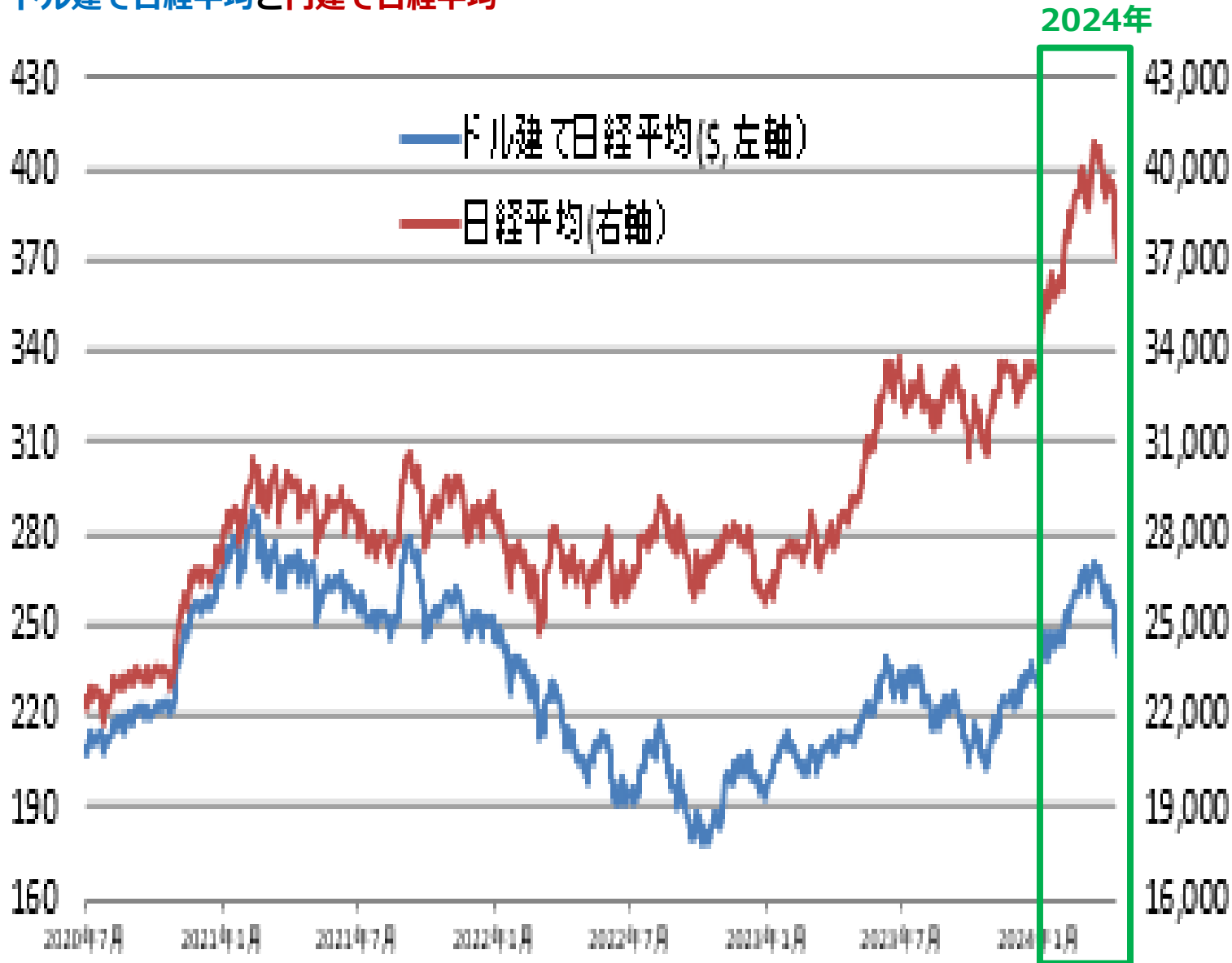
NT倍率（日経平均 ÷ 東証株価指数）と日経平均の相関が高いと分かります。14倍を割れば、41000円を目指す楽観的な相場が終わり、23年後半の30000～35000円のレンジに戻される可能性もありそうです

出所) ブルームバーグ、JPXなどより筆者作成



日本株の上昇は円安効果だけだった

ドル建て日経平均と円建て日経平均



2024年の日経平均上昇は、単なる円安効果、為替換算上の幻想でしょう

昨年末に日経平均が33464.17円の時、1ドル141.36円でしたので、ドルベースでは **236.73ドル** でした (EPS : 2270.30)

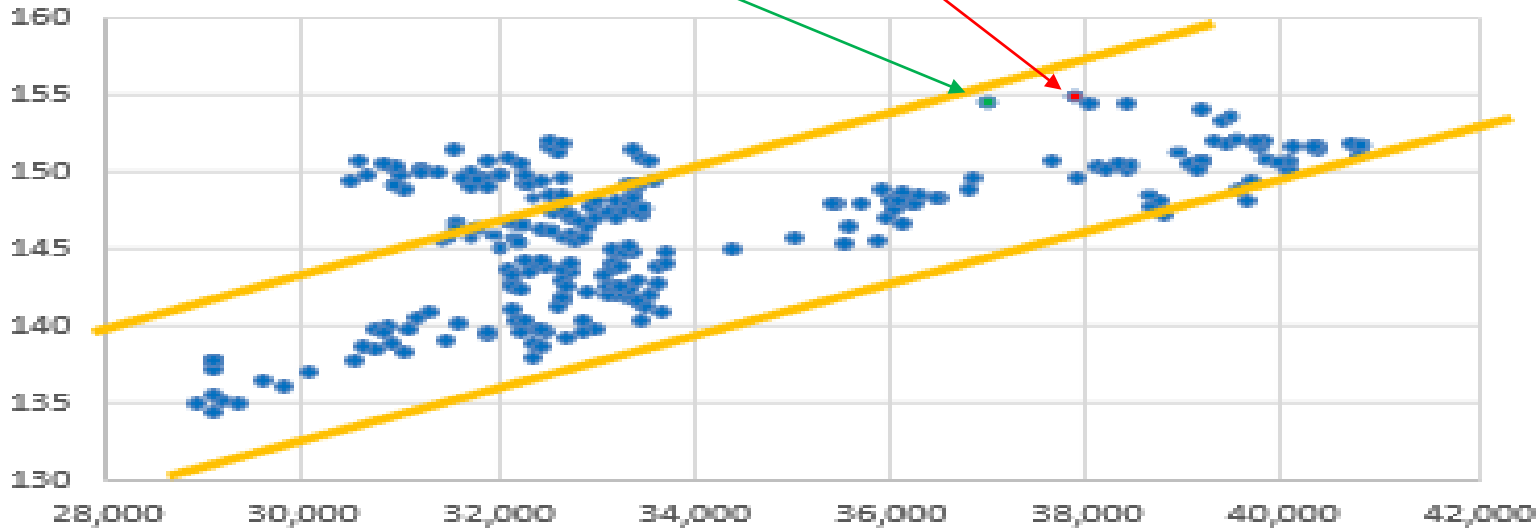
4月19日に日経平均が37068.35円となったとき、1ドル154.30円でしたので、ドルベースでは **240.24ドル** でした (EPS : 2286.76)

出所) ブルームバーグなどより筆者作成 (2024年4月19日)



しかし円安による日経平均引上効果もリスクオフが逆風に

ドル円と日経平均の分布図 (緑: 4月19日、赤: 4月18日)



ドル円レートには1円の変動で日経平均を800円程度動かすインパクトがありましたが、中東の緊張で日本経済の弱さに焦点が当たり始めています

足元の円安は金利差から来るファンダメンタルの要因が大きいため、日銀が介入するときの理由としての「ボラが高い」とか「実勢にあっていない」は正当な理由にはならないでしょう

日米金利差とドル円

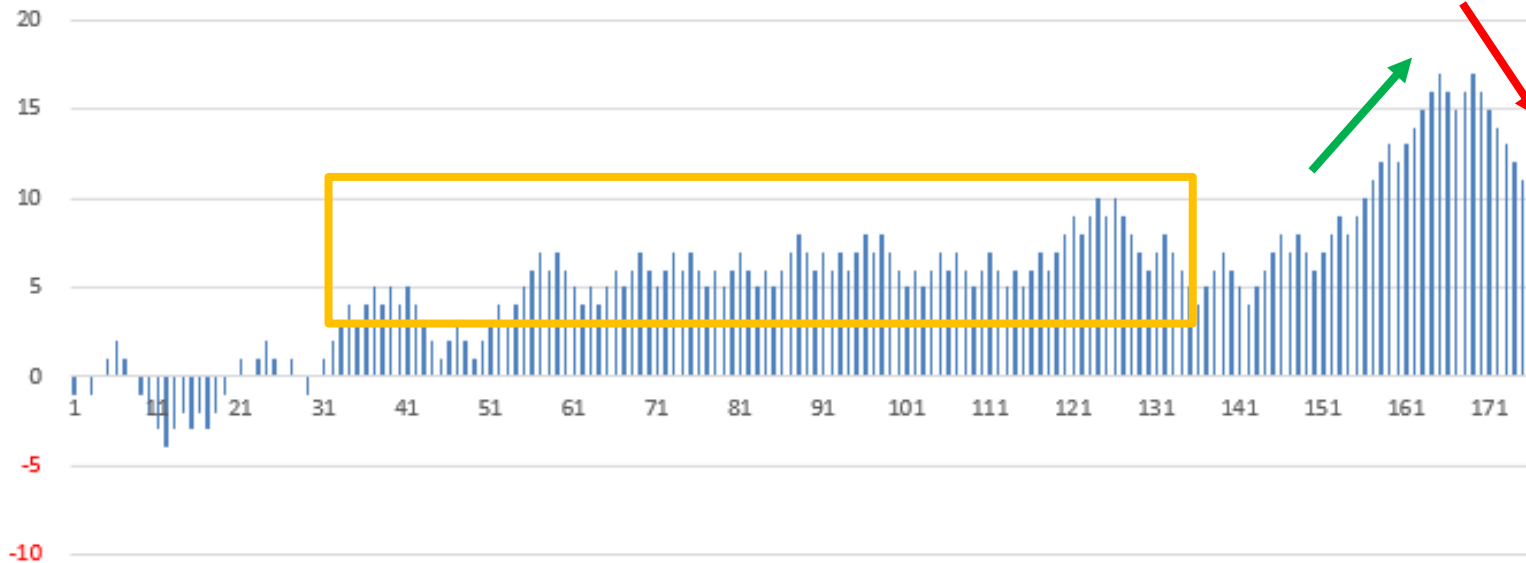


出所) ブルームバーグより筆者作成 (2024年4月19日現在)



日本株はすでに弱気トレンド入り

日経平均プラスマイナス450円以上変動の累積回数



これは日経平均で450円以上の変動があった日を上昇ならプラス、下降ならマイナスで累積した図です。日経平均は**橙枠**の期間はボックス相場、**緑線**の期間は強気トレンド、**赤線**の期間は弱気トレンドにあります。結果としてボラティリティが高い状態は、OP価格も高くなっていますので、売り方に有利です。さらに、変動が激しいということは、買い方にも大きな機会を与えています

	±450円以上 回数	現物市場 立ち合い日数	確率	間隔(日)
2020年	29	242	12.0%	8.34
2021年	39	245	15.9%	6.28
2022年	37	244	15.2%	6.59
2023年	45	246	18.3%	5.47
2024年	22	73	30.1%	3.32
2020-2024年*	172	1050	16.4%	6.10

注) 2024年4月19日現在

出所) ブルームバーグなどより筆者作成 (2024年4月19日)



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
 でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！

3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週*
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週*はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>